

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ  
川崎市外国人市民代表者会議  
(第12期 第2年 第3回 第1日)  
ぎじろく  
議事録

1 日時 2019 (令和元)年10月22日(火・祝) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 13人

アニー タ リシケシユ、ウル エリック ファーレイ、大越 ミュートン  
トミオ、金 海花、蔣 香梅、スタント イルワン、チョ チョ カイン、  
寺田 ヘザー、バテネフ アルチョム、ポール ウツザル クマル、ボソ  
ロドリゲス ミゲル アンヘル、劉 愛玲、ロベス ハイロ

(2) 事務局

ながぬま たんとうかちょう いちのせ たんとうかちょう とよだ たんとうかりちょう なかの かりちょう くさかべ  
長沼 担当課長、一ノ瀬 担当課長、豊田 担当係長、中野 係長、日下部  
しよくいん たかはし せんもんちようさいん  
職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 7人

5 会議次第(公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

## 【全体会】

スタント委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議2019年度第3回第1日を開催する。本来は10月13日に開催する予定だったが、台風19号の影響で、急遽、本日開催することになった。そのため、今日は欠席の委員が多くいるが、オープン会議も近いため会議を開催しなければならず、出席のみなさんにはあらためて感謝する。それでは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局豊田担当係長が説明)

スタント委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、議事に入る。まずは、代表者の欠員と補充についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、残りの期間も短いので補充しないということに賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、補充はしないということで決定だ。次に、オープン会議についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明)

スタント委員長「それでは、順番に確認しながら決をとりたい。まず、タイムスケジュールについては案のとおりでよいか。質問や意見はあるか。(なし)では、賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)続いて、分科会の進め方について、何か質問や意見はあるか。(なし)では、案に賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)次に、全体会について何か質問や意見はあるか。(なし)では、案に賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)最後に、役割分担についてだが、希望はあるか。」

寺田委員「交流パーティーの担当は何をするのか。」

事務局高橋専門調査員「開始のあいさつと最後のあいさつなどをお願いしたい。」

スタント委員長「では、役割の希望はあるか。(代表者の希望を確認)それでは、次は部会審議だ。全体会の再開は16時15分とする。」

## 【情報・広報部会】

スタント委員長「それでは、情報・広報部会を始めたい。代表者の辞任で情報・広報部会のメンバーが少なくなったので、今回から私が情報・広報部会に参加することにした。それと、今日は急な日程変更となったため部会長と副部会長が参加できないとのことで、事務局との事前打ち合わせをしている私が代理で進行させていただくがよいか。（異議なし）まず、今日の進め方について事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明）

スタント委員長「何か質問はあるか。（なし）では、1つ目のテーマのワンストップセンターについて事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料4-1、4-2に基づき説明）

スタント委員長「今、事務局から事前質問に対する回答を読み上げてもらったが、何か質問や意見はあるか。」

ロベス委員「相談時間についてだが、たとえば区役所だと月に1回くらい時間外に対応をしている日があるかと思うのだが、そういった仕組みがあると便利かなと思う。」

ウル委員「ワンストップセンターはあるが、それが外国人市民に知られていない。」

ポール委員「ワンストップセンターがあるということは、外国人のみなさんにお知らせなどで送っているか。」

事務局高橋専門調査員「送っていない。」

ポール委員「やはり知らない人が多いので、広報は積極的にして欲しい。」

事務局高橋専門調査員「今日は参考人招致で来るはずだった担当者も来ていないので、時間外に対応と広報に関しては、事務局として責任をもって伝える。」

スタント委員長「今の2つに関しては、事務局から担当課に伝えてくれるということだが、ほかに何かあるか。（なし）では、ワンストップセンターに関しては、動き出したばかりということもあり、まだ具体的な課題が見えてきていないので今期は提言にしないということによいか。（全員賛成）では、ワンストップセンターに関しては、今期は提言しないことにする。次のテーマに移りたい。乳幼児健診について、事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料4-3に基づき説明）

スタント委員長「提言の骨子案について説明してもらったが、質問や意見はあるか。」

ポール委員「オープン会議に来る人には日本語が難しいかもしれない。やさしい日本語の方がよいと思う。」

ロペス委員「内容はすばらしい。」

劉委員「とくに2段落目はすごくありがたい。見た瞬間にすごく感動した。私たちの思いがまさに表現されている。」

スタント委員長「ツールについてはどうか。オープン会議では、英語と中国語のサンプルを出そうと考えているが、意見はあるか。」

劉委員「参加者は、そもそも日本語版を見たことがない人もいると思うので、日本語版を配った方がよい。」

ロペス委員「日本語版を先に見せてから、私たちのツールを見せると便利さが伝わりやすいと思う。」

スタント委員長「ほかに何かあるか。」

ウル委員「これはホームページからプリントアウトできるのか。」

事務局高橋専門調査員「今あるものもプリントアウトできる。」

ポール委員「外国語で書いて先生がわかるのか。」

ロペス委員「基本的には丸をつけることが多いので、まずはそれだけでもよいと思う。このツールでできることは限られている。」

劉委員「言葉が通じなくて困っているなら、ワンストップセンターに相談したりするのもよいと思う。」

スタント委員長「ほかに何かあるか。(なし)」

( ツールの言語と作成手順について確認 )

スタント委員長「それでは、これで部会審議を終わりにする。」

## 【教育・就労部会】

蔣部会長「それでは、教育・就労部会を始める。前回会議の内容確認については、省略でもよいか。(異議なし)では、今日の進め方について事務局から説明をお願いします。」

(事務局日下部職員が資料5に基づき説明)

蔣部会長「何か質問はあるか。(なし)では、まずは学校での子どもへの日本語支援についての参考人招致だ。今日は参考人として、教育委員会総務部人権・共生教育担当から、大野担当課長と、教育委員会事務局総合教育センターカリキュラムセンターから福岡指導主事に来ていただいた。よろしく

お願いします。最初に事前質問への回答の確認からする。」

(資料5-1に基づき事務局日下部職員が質問を、参考人が回答を読み上げ)

蔣部会長「では、続いて追加の質問はあるか。」

アニータ委員「最後のところをもう一度説明して欲しい。」

参考人大野担当課長「今、日本語指導が必要な子どもへの支援というのは、それぞれの課に分散されてしまっているという状況がある。それを一本化して、さまざまな相談に対応できるようにということで組織の整備を検討している。」

寺田委員「学校以外での日本語支援の内容はどのようになっているか。」

参考人福岡指導主事「資料にもあるように寺子屋教室があるが、内容に関しては子どもの状態によって変わってくる。日本に来たばかりだと、ひらがなを教えたり、日本語のテキストを使って会話をしながら覚えていったりなどだ。ただ、たとえば算数の問題の計算はできるけれど、文章の内容がわからないなど、学習サポートのようなことも実態としては多くやっている。」

金委員「寺子屋についてで、子どもたちの日本語レベルはみんな違うと思うのだが、最初にレベルチェックをして、クラス分けなどを行っているのか。」

参考人福岡指導主事「レベルチェックはやっていない。それぞれが、それぞれの課題をやっているので、グループ学習のようなかたちをとっているわけではない。」

金委員「もうひとつ、日本語指導等協力者の派遣は144時間というのがあったと思うが、寺子屋の場合はそういった時間の決まりはあるか。」

参考人福岡指導主事「寺子屋に関しては、子どもたちが自由に通うので、日本語指導というのとは少し違う。」

アニータ委員「寺子屋の指導者は足りているか。」

参考人福岡指導主事「日によってバラつきがあり、ボランティアが少ないという話も聞くが、直接の担当ではないので詳しくはわからない。」

寺田委員「1回の時間はどのくらいか。」

参考人福岡指導主事「1時間か1時間半くらいが多いと思う。ただ、自由に出入りできるので、しっかりと時間が決まっているわけではない。」

蔣部会長「日本語指導が必要な子どもの学習支援をしてくれる寺子屋は2つしかないなので、もっと増えて欲しい。それと、事前質問への回答にもあったように、子どもへの支援を充実させるためには、体制を一本化することが必要だと思う。」

参考人 大野 担当課長「外国につながる子どもたちが増えているという現状の中で、担当部署とも連携しながら寺子屋についても拡充していく方向で検討できればと思う。」

蒋 部会長「そろそろ時間になったので、参考人招致はここまでとしたい。大野 担当課長、福岡 指導主事、本日はどうもありがとうございました。（参考人 退席）では、今の参考人招致をふまえて、何かあるか。時間も限られているので、感想ではなく、提言につながるような意見を言って欲しい。」

チョ 委員「実は、私は宮前小学校の寺子屋に行っている。先生は大体13人くらいで、10人くらいのときもある。私の印象だと、日本語支援はほとんどやっていない。宿題の手伝いや、音読を聞いてあげたり、折り紙を教えたり、カードづくりをしたりしている。子どもたちは、日本語ができています。」

蒋 部会長「寺子屋は、学習支援も含めて居場所づくりという意味も大きいのだと思う。」

ボソ 委員「多分、寺子屋のボランティアは日本人が多いと思うが、外国語ができるボランティアがたくさんいた方がよいのではないか。」

バテネフ 委員「子どもたちの日本語能力を把握するための仕組みがあった方がよいのではないか。あとは、日本語学習のモチベーションをあげるために、スピーチコンテストのようなものを開催するのもよいかもしれない。ボランティアに關しても不足しているようだが、完全な無料ではなく、500円とか、600円くらいの料金を設定してもよいかもしれない。」

蒋 部会長「ほかに質問や意見はあるか。（なし）それでは、寺子屋についていろいろと意見も出たが日本語指導については、組織体制を整備するという方向で進めていくということによいか。（全員賛成）続いて、就労・労働問題について審議したい。事務局から説明をお願いします。」

（事務局 日下部 職員が資料5-2に基づき説明）

蒋 部会長「何か質問や意見はあるか。」

バテネフ 委員「国への要望は提言に入れても大丈夫なのか。」

蒋 部会長「国に対して直接提言するわけではない。提言は市に対してで、市から国に働きかけて欲しいというかたちの提言になる。」

寺田 委員「オープン会議の話になるが、せっかくなので参加者に相談窓口などの情報提供をしたらどうか。」

蔣 部会長「ほかに何かあるか。（なし）では、就労・労働問題の提言については、骨子案の方向で進めるということによいか。（全員賛成）続いて、オープン会議での役割分担について決めたい。事務局から説明をお願いする。」

（事務局日下部職員が資料3に基づき説明）

蔣 部会長「何か質問はあるか。」

チヨ 委員「板書は漢字が書けなくてもよいか。」

蔣 部会長「大丈夫だ。」

チヨ 委員「ほかに誰もいなかったらやる。」

金 委員「板書は、話し合ったことをまとめてから書くのか。それとも、同時に書くのか。」

蔣 部会長「同時に書く。」

金 委員「やります。」

蔣 部会長「では、次にタイムキーパーを決めたい。タイムキーパーは、私のサポートもして欲しいのだが、副部会長のアルチョムさん〔バテネフ委員〕はどうか。」

バテネフ委員「ほかにいなければやる。」

バテネフ委員「次に、マイク係を2人決めたい。」

チヨ 委員「やります。」

おおごしいん わたし  
大越委員「私もやります。」

蔣 部会長「それでは、時間になったので、これで部会を終わりにする。」

## 【全体会】

スタント委員長「それでは、全体会を再開する。まずは部会報告を情報・広報部会からする。今日は、前田部会長とアリ副部会長が不在だったので、私が代理で進行した。報告も私からする。まず、ワンストップセンターについてだが、今日は出席者も少ないことから参考人招致は行わず、事前質問への回答をもとに審議した。結論としては、ワンストップセンターはまだ開始したばかりなので、現時点で課題が明確になっているわけではないことから、提言はしないということに決まった。ただし、相談時間に関しては、月に1回でも少し遅い時間まで開いている日があってもよいのではないかと、利用促進のためには広報が重要だ、などの意見があった。この2つの意見に関しては、参考人としてく

るはずだった担当者事務局から伝えてもらうことにした。次に、乳幼児健診だが、今日は提言の骨子案を確認したが、私たちの考えていることがよく伝わる文章になっていた。そのうえで、オープン会議のときには、なるべくわかりやすく説明するというようにした。ほかに、細かいことだがオープン会議の際には、日本語のルビなしの間診票を見せてから、私たちの作成するツールを見せた方がインパクトがあるということで、そのような順番で進めることを確認した。オープン会議で配布するサンプルは英語と中国語だが、そのほかの言語についてもみなさんに作成協力をお願いしたい。報告は以上だが、何か質問や意見はあるか。（なし）それでは、次に教育・就労部会からの報告をお願いします。」

蔣部会長「今日は参考人として、教育委員会総務部人権・共生教育担当から大野担当課長と教育委員会総合教育センターから指導主事の福岡先生に来ていただいた。事前質問への回答を確認したあと、追加の質問をして審議を行った。川崎市では現在、外国につながる子どもの支援を目的とした寺子屋と分校が宮前小と住吉小にあるのだが、2か所では足りないのではないかという意見があった。また、日本語指導等協力者の派遣期間が終わった子どもへの支援として、学校外での支援が必要ではないかという意見もあった。いろいろな取組はあるが、担当課が違ったりするので、日本語支援を担当する窓口を一本化した方がよいのではないかと、という方向で審議を進めていくことが決定した。就労問題に関しては、提言の骨子案を確認して、その方向で進めていくことを決めた。」

スタント委員長「何か質問や意見はあるか。（なし）では、続いて実行委員会報告だ。市民祭りについて、まずは事務局から説明をお願いします。」

（事務局日下部職員が資料6に基づき説明）

スタント委員長「では、市民祭りの出欠確認をとる。（出欠確認）議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いします。」

## 【事務連絡】

- ・かわさき市民祭りについて
- ・災害時多言語支援センター設置訓練について

スタント委員長「以上で、今日の日程は終了だ。次回は、11月10日、日曜日、



午後2時から、ここ国際交流センターでオープン会議として開催する。11月3日の市民祭りにもぜひ参加をお願いします。これで、2019年度第3回第1日の会議を終わりにする。お疲れさまでした。」